

吉原太刀振り

吉原太刀振りは、舞鶴の吉原地区で行われている伝統行事で、演武、演劇、儀式を組み合わせた行事です。この吉原太刀振りでは演者たちはペアで踊り、剣や杖を振り回し飛びはねながら、1600 年の田辺城を守るための戦いのシーンを演じています。この戦いでは地元の漁師が加勢し、石田光成の軍と比べて圧倒的に兵の数で負けていた細川幽斎（1534 年～1610 年※細川藤孝としても知られる）の田辺城を守ったとされています。記録によると、この吉原太刀振りは少なくとも江戸時代（1603 年～1867 年）の中期からこの地域で行われているようです。

吉原太刀振りは笛や太鼓の音楽に合わせて行われます。年配の演者は刀を使って演じますが、若い演者は保育園に通うほどの子供である時もあるため、子供は両端に紙の装飾が付いた棒を持って演じます。この吉原太刀振りは 1 時間ほど時間で、朝代神社や田辺城跡地の舞鶴公園など 6 か所で開催されています。会場間を移動する時は、演者はおみこしと共に移動します。吉原太刀振りは 4 年に 1 回、毎年 11 月 3 日に開催されます。